

# しじょう 市場 って どんどころ?

ちゅうおうおろしうりしじょう  
**中央卸売市場とは…**  
 私たちの生活に欠かすことのできない生鮮食料品等(青果・水産・花き)を全国から大量に集め、取引に応じて仕分けしていく拠点施設になります。この市場は、公設の中央卸売市場で、卸売市場法に基づき、農林水産大臣の認定を受けて、新潟市が開設し、管理・運営しています。

**中央卸売市場の機能・役割**  
 生鮮食料品等の生産者と消費者を結び、パイ役として、次のような機能があります。

- 集荷・分荷機能** 消費者等のニーズにあわせ多種・大量の品物を集め、迅速かつ効率的に仕分けし配送する機能
- 代金決済機能** 販売代金の決済を迅速かつ確実に行う機能
- 価格形成機能** 取引における公正な価格を決定する機能
- 情報発信機能** 品目や価格等に関わる情報を収集し、発信する機能

こうした機能を果たすことによって、私たちの生活の安定と向上に資する役割を中央卸売市場は担っています。

市場は24時間動いています。  
**市場の1日**

<p>にゅうか はいれつ  <b>入荷・配列</b>                  前日14:30~                  前日13:00~                  前日12:00~</p>	<p>したみ  <b>下見</b>                  5:00~                  4:00~                  4:00~</p>	<p>せり                  6:00~                  5:00~                  7:30~</p>	<p>ぶんか はんしゅつ はんばい  <b>分荷・搬出・販売</b>                  6:30~                  5:30~                  8:00~</p>	<p>せいり じゅんび  <b>整理・準備</b>                  10:00~                  10:00~                  10:00~</p>
--	--	--	---	---

前日の午後からせりの開始前までに、生鮮食料品等が大型トラックに満載されて運び込まれます。卸売業者は、入荷した品物を配列して販売の準備をします。

せり開始の1時間くらい前から、仲卸業者や売買参加者は、仕入れたい品物の下見し、せり開始を待ちます。

せり人の威勢のよい掛け声が広い場内に響き渡り、せりが始まります。市場は一日で最も活気を見せます。(水産物部:午前5時、青果部:午前6時、花き部:切花午前8時、鉢物午前7時30分から。せりは1~2時間で終了します。)

仲卸業者は、取引した品物を自分のお店や倉庫に運び、店先での販売や注文品の配達準備を行います。売買参加者も取引した品物を、トラックに積み込み持ち帰ります。仲卸業者の売場では、売買参加者や買出人(飲食店や宿泊業などの事業者)が品物を仕入れに訪れています。

慌ただしかった売場も、午前10時頃になると静まり、卸売業者や仲卸業者は、その日の整理と翌日の準備をします。



**市場ではたらく人々**

**卸売業者**  
 生産者と消費者をつなぐのが役目。品物を全部売り切って、生産者に喜ばれるのがやりがいです。

**卸売業者**  
 全国各地の生産者などから販売を委託されて、または買付けて生鮮食料品等を集めます。市場に集めた品物を、せり売または相対取引により、仲卸業者や売買参加者に卸売します。

**せり売・相対取引**

**仲卸業者**  
 16社 14社 2社  
 自分の目と経験を頼りにして、よい品物を見定めます。卸売業者とのコミュニケーションを大事にしています。

**価格形成**

**せり売・相対取引**

**売買参加者**  
 129社 93社 147社  
 店舗を訪れるあらゆるお客様の好みや、季節ごとのニーズを第一に考えて商品の仕入れをしています。

**仕分・販売**

**販売**

**関連事業者**  
 32社  
 鮮度のよさを活かして調理をしています。食材本来のおいしさをそのまま提供することを心がけています。

卸売業者から仕入れた大量の生鮮食料品等を市場内の店舗で仕分けして、売買参加者や買出人に販売したり、スーパーなどに配送したりしています。短時間で多種多様な生鮮食料品等を仕分けする大切な機能です。

小売店、加工業者などのうち、卸売業者との取引に参加する資格を持っている人。卸売業者又は仲卸業者から直接生鮮食料品等を仕入れ、消費者に販売したり、加工食品などを製造したりしています。

**買出人**

**買出人**  
 品物の鮮度や旬を見極めながら仕入れ、自分で選んだ品物でお客様を笑顔にできるのはうれしいことです。

**消費者**

卸売業者との取引に参加する資格を持たない小売店、飲食店、宿泊業などで、仲卸業者や関連事業者から品物を仕入れ、自分の店舗で販売します。

**開設者**  
 (新潟市)

新鮮で安全な生鮮食料品等を、安定して消費者に供給するために、取引の指導監督や衛生検査、価格等の情報提供及び施設の維持管理等を行います。

**市場の取引**

卸売市場では、公正かつ効率的に売買取引を行わなければならないとされています。卸売業者は「せり売」と「相対取引」と呼ばれる方法で仲卸業者や売買参加者等に卸売をします。

**「せり」って何だ?**

**「せり売」**  
 卸売業者の「せり人」が競売する品物の品目、産地、等級等を示し、買いたい人が「手やり」という方法で合図し、一番高い価格を示した人がせり落とす。

**「相対取引」って何だ?**

「せり売」以外の取引の方法で、卸売業者が買手と話し合いで価格、数量を決定します。



**数字で見る市場**

**取扱高**

1日平均	430トン / 2億円 (10トントラック40台分)
1年間	109,103トン / 512億2千万円 (10トントラック10,910台分)

青果部 308トン (トラック31台分)  
 水産物部 122トン (トラック13台分)  
 花き部 16万本(鉢)

**取扱金額の推移**

市場としての取扱金額は、減少傾向にあります。それは社会的な変化(人口減少や食生活の変化など)もありますが、生産者から消費者に直接届けられるなど、流通の仕組みが変わってきていることも大きな要因になっています。

